

4/±  
2

## 令和4年度 事業計画発表会



4月1日、23名の入職者を迎え、また新しい年度が始まりました。そして年度初めの行事、事業計画発表会が4月2日(土)に開催されました。

令和3年度の総括として、やはりコロナコロナの1年、オミクロン株にはスタッフも感染するなどしましたが、コロナ受入病棟ではスタッフの陽性者0というこれは誇れる結果でした。そして新棟建築は一時停滞していましたが、ようやく動き出しました。Re Startです。また、診療報酬が改定されました。救急・急性期医療は当院の根幹です。さらに応需率をあげて断らない医療を徹底したいと考えます。今年度も最新・最先端の医療から目を離さず、より専門医療を進めることを目指しています。阪南病院にできないことはないと言われるほどに、地域立脚型の医療を今年度も進めていきたいと考えます。

発表会では、その他医療データの総括や、管理職者研修の内容紹介、そして各部署への期待など今年度の盛りだくさんな取り組みが発表されました。併せて、昇格者の紹介や、発表会前には昨年10月の創立記念以降の入職者の歓迎セレモニーが行われました。また、今年も感染対策として、場所を3ヶ所に分け行いました。

この院長からの今年度の方向性が出た後は、各部署が、自部署の事業計画を作成していきます。

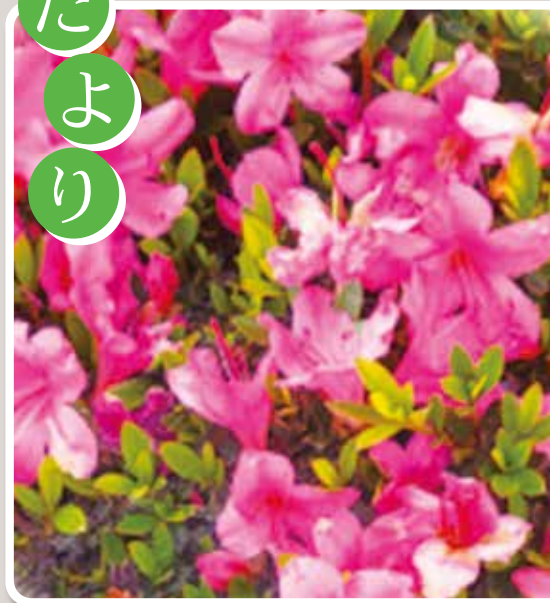
4月は全体の事業計画に続き、部門別事業計画、QC活動事業計画(委員会、会議の計画発表)が順次行われ、目標管理をしつつ令和4年度の事業を進めてまいります。

### 基本方針

- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
- 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
- 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
- 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
- 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

## 院内 花 だ よ り



つじ 躑躅科。

- 開花時期は、4/15～5/15頃。
- つじは、万葉集の時代から親しまれており、花が連なって咲くことから「つづき」、また花が筒状であることから「つつ」

## 躑躅

などと呼ばれていて、「つつじ」になったらしい。

- 道路の歩道脇によく植えられている。
- 種類も色もいろいろ、現在300種を超えている。

病院玄関の花壇のつつじは「クリシマツツジ」という種類。毎年ゴールデンウィーク後に真っ赤な花を咲かせます。

## 立夏 5月5日

暦は中国から日本に渡ってきたものです。それを春夏秋冬で二十四分割したものを、二十四節気と呼びます。この場合、一年は二十四節気の「立春」から始まり「大寒」で終わります。そして今年の5月5日は7番目の節気「立夏」です。この日から「立秋」の前日までが夏季になります。そして立夏とは夏の始まりの時期です。藤やサツキなど初夏の花が咲き始めます。またミズやタケノコなど様々な生き物が力をもって地上に出てくるようなタイミングです。さわやかな青空と気候、1年のうちで最も過ごしやすい季節とも言われます。朝夕の涼しい時間に散歩や読書などゆったり過ごすことも健康には大切かもしれません。

### ■外来診療表

外来診療時間 / 9:00～12:00(受付は11:30まで)  
2022年5月9日から各医師の診療を各曜日・各診療室で行います。

	月	火	水	木	金	土	
診 察	1 診	黒田	土井拓	中井大	横田	黒田	横田
	2 診	田中	大神	松島	大久保	古川	中井基
	3 診	松島	亀田	植田	田村		植田
	4 診	前森	樋谷	谷口	山村	魚住	森谷
	5 診	佐野	山田	福島	橋本優	車井	吉見
	6 診	正木	土井貴	仲里	吉川	小林	小笹
	7 診		三浦	小深田	門間	京田	小深田
	8 診	熊取谷	橋本愛	松下	後藤	国本	熊取谷
	9 診	上坂	柏木	松村人	岩井	土井拓	橋本亮
	診(心1)			中井啓			

\*医師の急な都合により変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。  
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来  
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。  
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。  
TEL.072-278-0381  
FAX.072-281-6615

### 診療科目

精神科 / 心療内科 / 児童精神科 / 内科 / 歯科 / 小児科 / 放射線科 / 神経内科

### 病床数

- EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(C2,E2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
- メンタルケア(精神科急性期治療)病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

### 関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」「和泉府中」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク 堺市中区深井清水町3544-3 アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

# Withコロナ時代に 新型コロナウイルス感染症対策

■日本国内での発生の状況(5月17日23:55時点)

現在感染者数	新規感染者数	死亡者数	累計感染者数	退院者数
351,073人 (前日比+181人)	36,903人 (前日比-5,248人)	30,129人 (前日比+39人)	8,441,990人	8,060,788人 (前日比+36,683人)

大阪府では、4月24日に「年度替わりの集中警戒期間」が明け、3年ぶりに制限のないゴールデンウィークを迎えました。2年前に比べると、イベントなどの開催も増え、人も増加しているようです。とは言え終息には程遠い状況でもあります。大阪府では、警戒信号が黄色に変わりましたが、全てが緩和されたわけではありません。注意して、感染対策も充分に行いましょう。

府民への呼びかけとして、以下一部抜粋しています。

- 高齢者に少しでも症状がある場合、早めに検査を受診すること  
※基礎疾患のある方などの重症化リスクの高い方を含む。
- 旅行や帰省等、都道府県間の移動は、基本的な感染防止対策を徹底するとともに、移動先での感染リスクの高い行動を控えること
- 会食を行う際は、4ルールを遵守すること
  - ◆ 同一テーブル4人以内
  - ◆ 2時間程度以内での飲食
  - ◆ ゴールドステッカー認証店舗を推奨
  - ◆ マスク会食の徹底(着用が困難な場合はこの限りではない)
- 3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等の徹底、特に、子どもの感染防止対策を徹底。
- 少しでも症状がある場合、早めに検査を受診すること

### 感染対策の徹底を!

3密回避

2m

マスクの着用

手洗い

こまめな換気

## 新棟関連情報



これらの工事や現場事務所の建設のため、C棟入口周辺の通路切替工事や道幅が狭くなっています(写真左下)。警備員さんが常時立っています。通行には十分に気を付けていただきますよう、よろしくお願いたします。

現在は山留工事が進んでいます。大きく棒のようなのが高いところまで伸びた機器、1台は高さ33mの「杭打機」です。杭打ち工事は新棟を地盤の上に安定して建築するために必要な工事です。杭打ちをすることで地震にも強い耐久性のある建築物になります。そして新棟は地上3階地下1階の建物です。

地階工事のために掘削した地盤が土圧や水圧によってくずれない様にH鋼と言われる杭を打ち込んでいきます。丁寧に基礎工事が進められています。建物自体が見えてくるのはもう少し先ですが、新棟は災害に強いことも考慮して設計されています。時折大きな音がしていますが、しっかりと地盤づくりのための作業であることをご理解いただければと思います。



当院は敷地内完全禁煙です

## アプリコット堺 最近のトピックス

### 1 啓発活動を行いました

毎年4月2日は世界自閉症啓発デーです。日本では、4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」とし、堺市においてもパネル展示(堺市役所、美原区役所、イオンモール鉄砲町店、堺市立健康福祉プラザ)、美原図書館におけるブックフェア、旧堺灯台のブルーライトアップを行いました。

啓発に関する講演会も開催しました。今年はオンラインで「Let's Talk! 発達障害の合理的配慮～当事者の視点から～」について、さかいハタツ友の会代表と、就業されている当事者の方、中学生のお子さんを持つお母さんをお招きして、座談会を行いました。座談会の前に、アプリコット堺の職員より合理的配慮について説明を行いました。

仕事では「普通」を目指して頑張ってきましたが体調を崩したり、お子さんは不登校になるなどしました。本人(お子さん)の取扱説明書を大量に作成して、職場や学校に訴えても理解してもらえませんでした。その時に、当事者会(家族会)を見つけて相談するようになりました。自分の特性を整理して、職場と話し合うことができるようになり、またはお子さんが「キラキラと目を輝かせている時」に沿って関わると、得意な面を発揮できるようになりました。本人や家族が「その人らしさ」を大切にしたい結果だと思いました。



アプリコット堺では、今後も講演会や公開講座などを通して発達障害の啓発活動を続けていきます。

### 2 就労準備ハンドブックが完成しました

この度アプリコット堺では医療法人が発達障害者支援センター事業を受託している強みを活かし、精神科クリニックパスを参考に『就労準備ハンドブック』を作成しました。発達障害のある人が長く安定して働くためには職業適性だけでなく、健康管理や基本的な生活リズムの視点が大切です。本ハンドブックでは就労に至るまでの過程を5段階に分け、各段階に必要な項目を挙げ、本人と支援者が日々の支援の中で課題の共通認識を持てるようにしました。今後は発達障害の就労支援に有効に活用してもらえるよう地域の関係機関への研修機会を設けたいと考えています。



当院では患者様、ご家族様、ご来院者様のご意見を伺う「みなさまの声」BOXを設置しています。全病棟、OT、DC、外来待合、検査室待合の全17ヶ所にBOXを置いています。

担当者が月2回収り、会議で内容や返答部署の確認、各部署からの返答内容のチェックなどを行い、各部署からの返答を掲示しております。会議での検討を含むため、返答掲示までにお時間をいただきますが、しっかりと内容確認し、返答させていただきますと考えております。また投書内容は全部署へ配布し、どういったご意見があるのかを全体で共有し把握するように努めております。

これまでもいただいたご意見から待合へのFAXをいただいているか、病棟への給茶機の設置など、改善可能なものについては対応してまいりました。

写真はF棟待合に設置しているBOXです。近くに記載用紙も置いてありますのでご利用ください。



みなさまの声  
(投書箱)を  
ご存知ですか?

